



Frontier Spirit!

第5号

H28.11.7

文責: 仲山

J Hinata

秋。。。いよいよ大事な季節となりました



運動部にとっては新人大会が終わり、文化部にとっては芸文祭が今月行われるなど、秋はいろいろな面で忙しいけど充実した時期でもあると思います。3年生はセンター試験の出願も済み、模試も一段落になりつつあり、いよいよこれから受験に向けて・・・という時期になってきました。この秋は、3年生にとってはもちろん大事な時期ですが、1, 2年生にとっても非常に大事な時期でもあります。

まず1年生は、過去の先輩方の学力の伸びを見ても、ここから成績が上がる生徒と、上がらない生徒に分かれます。上がらないというのは下がるという意味ではありませんが、高校の勉強というものがわかってきた生徒とそうでない生徒では、その取り組み方に差がついてくるといえます。

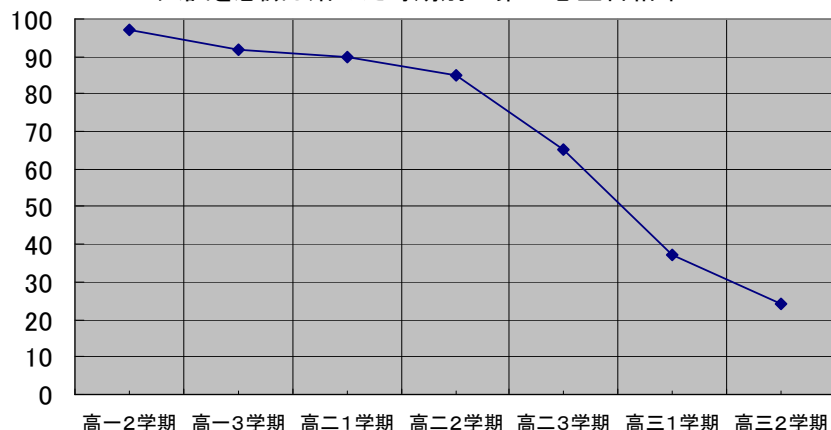
2年生にとっては、この秋に受験を意識して本格的に勉強に手をつけられるかどうか、第一志望校に合格するかどうかにかかなり大きな影響を与えます。下のグラフはある大手予備校で調査したグラフですが、「先んずれば人を制す」とよく言われますが、この言葉が通用するのも、2年の秋までと言えると思います。今年度の2年生は、本校のアンケート等の結果を見ても受験を意識しだしたという生徒が多いようですので、期待したいと思います。

また、3年生にとってはセンター試験まであと70日弱となり、最後の詰めに向けて力を振り絞るという時期になりました。ここから大事なことは弱気にならないということです。受験が近づけば近づくほど、心配や不安がつのります。しかし、終わったときに、あの時はダメかなと思ったけど、そこさえ乗り切っていたら・・・、そこを乗り切ったから・・・ということがよくあります。それは受験当日にも起こります。1科目ミスしただけでももうダメだと思い込んでしまいズルズルと引きづり結果的に力の半分も出せないで終わってしまう生徒が例年います。しかし本当はそれを切り替えてさえいれば合格していたということが多々あり、これからは本当に気持ち次第といえます。本校の生徒は3年次後半の伸びがすごいといつも言われてきました。それは弱気になって志望校を下げるのではなく、最後までやり抜くことを徹底してきたからだと思います。今の3年生もそうなってくれると期待しています。ここからが大事な時期です。また、3年生も受験の準備が始まりつつありますが、まずは前期で受験しようと思っている第一志望校の願書を取り寄せてみてはどうでしょうか。受験の宿の予約などをするのもいいと思います。それによって自分が受験するんだという実感と明確な目標が見えてくるとと思います。

今後の主な予定

- 1 1月
- 2 日(木)
大掃除・植花作業
- 5 日(土)進研模試①②③
- 6 日(日)進研模試②③
- 10 日(木)芸文祭グラウンド
ステージ
- 12 日(土)公開授業
- 13 日(日)大学別模試③
- 14 日(月)代休・大学別
模試③
- 17 日(木)月の授業
- 18 日(金)
SSH成果報告会
- 19 日(土)土曜課外①②
土曜講座①
登校学習会②
- 25 日(金)サイエンスフォーラム
- 28 日(月)～12月1日(木)
第4回定期試験

入試を意識し始めた時期別の第一志望合格率





センター試験の出願～進路行事から

先月になりますが、3年生は学校から一括してセンター試験の出願をし、確認のはがきも届きました。あと1ヶ月くらいで受験票も届くと思います。今年も266名の生徒がセンター試験を受験することになっています。また、10月7日にはセンター試験100日前（実際は99日前）ということで駿台予備学校の目黒先生に来て頂き講演を聞きました。改めて受験に向けてやる気を喚起することができました。

2年生は、9月末に大学出張講義が行われ、8人の大学の先生に来て頂き、それぞれ自分の受講したい講座を受け、大学の講義に触れる貴重な機会となりました。10月には、サイエンスフォーラムで本校OBのJAXA成田氏に来て頂きスケールの大きい講演を、さらには甲府ロータリークラブの山梨中央銀行田辺氏の金融に関する職業人としての講話を聞くことができました。

1年生も9月下旬にベネッセコーポレーションの多田氏の進路講演、10月にはキャリア教育として山梨学院大学の土橋先生、また保護者講話として10人の保護者の方に話をしていただくことができ、生徒にとっては普段の授業ではなかなか聞くことができない貴重な話で大変得るものが多かったようです。

これから、どの学年にとっても大事な時期を迎えようとしています。学習への取り組みにおいて、なかなかこれといった最適な方法というのはつかみづらいものですが、1人1人が自分と向き合う中で探っていくしかないのだと思います。下記はそんなみなさんにちょっとでもヒントになればと思い、掲載しました。

合格する生徒に共通する「7つのエレメント」 （東洋経済オンラインより）

1. 勉強の価値は学習時間や学習量では決まらな**い**と考えている
（勉強の価値はどれだけ深く理解したかであり、どれだけ時間をかけたとか、量をこなしたということでは決まら**ない**、と考えている。）
2. 「能動的に考えること」を重視し、与えられた知識に偏重することをしない。
（暗記中心の学習には限界があることに気付いている。思考こそが記憶の土台となることを熟知している。）
3. 「基礎を固めること」を第一に掲げ、入試が近づくにつれ志望校の「過去問」の分析を重視する。
（「教科書」の完全マスターが、まず重要である。基礎が完成したら、戦略として志望校の出題の「クセ」をマスターするため、過去問の演習を重視する。）
4. 「死んだ時間」が不合格の温床であることを理解している。
（合格に直結しない「死んだ時間」（長すぎる気分転換やムダな世間話などの時間）を過ごすことなく、それを極力排除している。）
5. 勉強の進捗と方向性について、1か月ごとの目標を明確にしている。
（期限を切らねばだらだらしてしまう、目標なきところに成功がない、と分かっている。目標は1週間では短すぎ、1年では長すぎると考えている。）
6. 不得意分野の集中治療に連休などを活用し取り組んでいる。
（不得意分野があれば受験で不利なのは当たり前である。学習にメリハリをつけることで、それを克服しようとしている。）
7. 早寝早起きで、毎日7時間は睡眠をとっている。
（よく眠らねば頭脳は機能せず、日中の効率性は低下してしまう。そのような状態で起きていても意味がないことを理解している。）

